

関城中学校 学校だより 10

〈学校教育目標〉

き せき

自ら学び 心豊かで たくましい生徒の育成

# 輝 関

発行 筑西市立関城中学校

発行日 令和3年1月12日(火)

TEL 37-6055 FAX 37-8187

HP: <http://www.chikusei.ed.jp/sekichu> QRコード→



## 「令和3年が素晴らしい年でありますように」

校長 櫻村 睦彦



明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひいたします。

まず、皆さんが交通安全等に心がけ、冬休み中、大きな事故や事件がなかったことを大変うれしく思っています。

いよいよ令和3年が始まり、3学期もスタートしました。3学期の登校日は、1・2年生が5日、3年生は、4日です。「1月は行く、2月は逃げる、3月は去る」と言われるようにとても月日が経つのが早く感じると思っています。

「終わりよければすべてよし」という言葉にもあるように自分の満足のいく結果を出せる学期にしてほしいと思います。

最後に、新型コロナウイルス感染予防に努め、今年1年が素晴らしい年になるようお祈り申し上げます。

## レクリエーションでリフレッシュ!

12月18日(金)、全学年とも学期末のレクリエーションを実施しました。1年生は「鬼ごっこ」、2年生は「ドッジボール」、3年生は「バスケットボール・バレーボール」等を実施しました。三密を回避しながら、工夫して行いました。3学期に向けて、よい気分転換となりました。

## ご協力ありがとうございました チーム・ティーチングを推進しています



12月22日(火)、福祉委員会を中心に「ペットボトルキャップ」を回収し、関城支所に届けました。写真のように軽トラックの荷台を覆うほどのペットボトルキャップが集まりました。ご協力ありがとうございました。筑西市ではペットボトルキャップは、「NPO 法人 世界の子どもにワクチンを 日本委員会」の活動に寄付をするため、拠点回収(本庁舎1階・支所)を行っています。

現在英語科の授業では、授業の一部を本校英語科教員と、ALTの先生とのチーム・ティーチング(以下TT)で行っています。12月21日(水)、ALTの派遣をいただいている会社の方が来校され、授業の様子を参観されました。生徒の多くがALTの先生とのTTの授業を楽しみにしています。本校では今後もTTの授業を積極的に行い、現実場面を活用できる英語の習得を目指した授業を行ってまいります。

「挑戦」から学んだこと 2年  
私が2学期を振り返り思うことは、「挑戦してよかった」ということです。

コロナウイルスにより、様々な行事に影響が出る中で、駅伝大会に出場することができました。昨年に引き続き参加することに迷いもありました。また練習では、大変だとも思っていました。

しかし、「自分で決めたことは、全力でやろう」という気持ちで練習に取り組み、仲間と競い合いながらお互いを高めることができました。そしてタスキを繋ぎ、みんなで一つのことを成し遂げることができました。今振り返ると、充実した楽しい思い出となっています。

また学級委員という立場としても挑戦しました。人前に出た経験が少なく、大きな声で呼びかけることに苦手意識があり、学級をまとめていくことに不安がありました。それでもクラスのみんなに支えられながら、学級委員としての役割を努めることができました。自分でも反省することが多く、決して合格点ではないと思います。しかし、この経験から少し自分に自信をもつことができました。

これらの経験は、「挑戦」したことで得られたものです。今後も困難なことや苦手なことでも、無理だと決めつけず、挑戦して自分が少しでも成長できるように頑張っています。

新年の抱負

3年

僕の今年の目標は、志望校に合格し、野球部のレギュラーになることです。そのために努力したいことが2つあります。

1つ目は受験勉強です。これまでは「勉強しなくてはいけない」と分かっているけど、スマートフォンを使用したり、テレビを観てしまったりすることがありました。

受験に向けて残り2か月、1日1日を大切に苦手教科の解消に努めたいと思います。2つ目は生活面です。行動は「人間性をあらわす」と聞きました。自分自身を振り返ってみると、「別のことをしていれば」と後悔することがよくありました。これらを反省し、最高の人間になれるよう努力していきたいです。

最後にいよいよ中学校生活も残り少なくなってきました。卒業式を最高の笑顔でむかえることができるように、頑張っていきたいです。

## 救命講習会を実施

## 心とからだの講演会を開催

12月9日(水)、2年生を対象に、救命講習会を実施しました。当日は筑西消防署関城分署の救命救急士の方をゲストティチャーに招き、胸骨圧迫法及びAEDの使用法に関し、実習を行いました。全員が真剣な表情で実習を行いました。今後実際に人命救助の場面に遭遇した際に、適切でかつ迅速に判断・行動ができることを期待しています。

12月11日(金)、2年生を対象に、「心とからだの講演会」を実施しました。常磐大学看護学部の村井文江教授を講師にお招きし、ご講話をいただきました。思春期の心や体の変化、性に関するトラブルの予防などについて学びました。今後大人になるにあたって、自分の性について自覚し、責任ある行動や判断ができるようになってほしいと思います。